令和８年度　公園等基本分析業務委託公募型プロポーザル評価基準

区分	提案項目	評価項目		評価の視点	配点
業務実施の確実性	業務実施体制	実施体制の妥当性		本業務に対して必要な専門知識、資格、ノウハウが説明されており、どのように優れているかについて具体的に示されているか。	１０点
	担当者の実績等	管理技術者の実績		必要資格の説明や経歴が示されていることのほか、管理技術者として何を意識して 業務に取り組むべきかが示されているか。	１０点
		主たる担当技術者の実績		必要資格の説明や経歴が示されていることのほか、管理技術者として何を意識して 業務に取り組むべきかが示されているか。	５点
企画提案の適切性	業務実施方針	実施方針の妥当性		1)　事業の目的や課題を正しく把握しているか 2)　スケジュール、体制、手順が具体的か 3)　提案した方法は本当に遂行できる人員・時間配分か 4)　課題への独自の工夫や改善提案があるか。 5)　想定リスクと対策が示されているか	１５点
		業務工程の妥当性		1)　業務工程表については、仕様書に示す業務内容を正確に踏まえ、業務全体の流れ、実施時期、役割分担、発注者との協議時期が明確であり、かつ無理のない実施体制となっているか 2)　工程の具体性が高く、進捗管理方法、課題発生時の対応、関係者調整の方法まで明確に示され、実現性が高いものとする。	１０点
	業務提案内容	提案内容の妥当性、 具体性、 実効性	分析業務 （基本的事項）	1)　業務目的や仕様書の内容を正しく理解し、その課題に対して適切な分析方法を選んでいる	１０点
			分析業務 （独自提案）	2)　業務目的の理解、分析対象の設定、着眼点は適切か 3)　分析項目の抽出や分析方法が適切かつ理論的に示されているか 4)　具体的な分析方法は、十分な精度が期待できるか 5)　スケジュールに無理がないか、役割分担や人員配置が適切か、実際に遂行可能な体制か 6)　分析結果の集計方法が後続の配置適正化計画や長寿命化計画を意識したものとなっているか	５点
			評価業務 （基本的事項）	1)　業務目的や仕様書の内容を正しく理解し、評価項目は適切か	１０点
			評価業務 （独自提案）	2)　提案内容が町の課題や条件に合っているか 3)　実施方法や工程が無理のない構成になっているか 4)　成果物の内容や水準がイメージできるか 5)　提案が成果創出につながる現実性を持つか	５点

				6）分析結果の集計方法が後続の配置適 正化計画や長寿命化計画を意識した ものとなっているか	
		その他の提案		後続の配置適正化計画や長寿命化計画の策定を見据えた上で、その他の有益な提案があるか	１０点
見積価格	全参加者の見積価格（税抜）の平均額（千円未満切捨て）に対し、次の指標により配点する。 10 点：平均額に対して見積価格が 15%超低い 8 点：平均額に対して見積価格が 5%超 15%以下低い 6 点：平均額に対して見積価格が上下 5%以内 4 点：平均額に対して見積価格が 5%超 15%以下高い 2 点：平均額に対して見積価格が 15%超高い ※参加者が 1 者の場合は 6 点とする				１０点